

# 市民建産常任委員会報告書

令和 5 年 8 月 29 日  
委員長 中野 敦史

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、令和 5 年 7 月 28 日、8 月 2 日に関係部課長等に出席を求め、委員会を開催いたしました。

## 建設産業部 都市整備課

**都市計画係**から、古賀市立地適正化計画策定業務委託の入札結果、都市計画道路野口髭園線の廃止について報告がありました。

**委員**から、立地適正化計画策定業務委託について具体的にどういったことをするのか、との問いに、各部署の関連計画の整理、住民のニーズの把握、都市の課題分析とその解決方法を整理し、古賀市としてどういうまちが望ましいのか、どのような形でコンパクトにしていくかということを検討していくが、古賀市は、現状でもコンパクトなまちになっていることから、まち自体を、住んでる所自体を縮小させるような計画ではない。また、立地適正化計画の策定が、国交省系補助事業の採択要件、補助金のかさ上げ要件となってきたため、今後、JR 古賀駅周辺の開発等インフラ整備等を行うに当たって補助金の活用を見込んでいることから、これらの事業を計画に書き込んでいくとのこと。

**開発指導係**から、屋外広告物許可申請の電子申請による受付について報告がありました。

**公園・緑地係**から、公園の剪定、遊具点検等の業務委託の入札結果、公園管理センタートイレ改修等工事の報告がありました。

**委員**から、これからの公園のあり方について、古賀市の考える方向性はあるか、との問いに、公園には、子どもだけではなく地域の方が集い運動し、遊び、休憩する場所の提供や、都市空間に土地的なゆとりを持たせることなど様々な役割がある。ある程度の管理を行いながら、地域のニーズが出てきたときに、それに応えられるかどうかも含めてしっかり検討していく必要があるとのこと。

**その他**として、7 月の豪雨等による都市整備課所管の施設については、被害なしとのこと。

## 農林振興課

**農林振興係**から、主要な事業の進捗、業務委託、補助金、各種イベントについて報告がありました。

**委員**から、古賀西小学校付近の松林で何本か倒れそうな松が見受けられるが、どのように把握しているか、との問いに、大部分が民有地になっており、土地の管理は地権者になるが、保安林の機能を維持するということで、市のほうで事業を実施している。松が無くなれば、風などで砂が飛んでくるため、現地を見ながら、必要があれば対応していきたいとのこと。

**農政係**から、国の補助金である農山漁村振興交付金の取得に向け、スマートアグリビレッジおの推進協議会が設立総会を開催し、準備を行っているとの報告がありました。

**委員**から、多面的機能について、交付金の要件は何か、現在の見込み数はいくらか、との問いに、多面的機能とは、農業が有する農産物生産の機能のほかにも、国土の保全、水源の涵養、自

然環境の保全、また良好な景観の形成などを含めた働きのことを指している、とのこと。交付金の要件としては、協議会を設立し、そこが実施主体となり、水路の泥上げや、農道の路面維持、または施設の点検、また農業用施設の維持管理計画の策定などの維持活動を行うといった内容で、実施数は、薦野、米多比、薬王寺、小山田、谷山、久保、筵内の7地区とのこと。

**農林土木係**から、農業用施設管理事業、農業基盤整備促進事業、及び防災力強化事業について報告がありました。

**その他**として、7月の豪雨等による土砂流出、法面崩落、倒木等20箇所の災害について、報告がありました。

## 商工政策課

**商業観光係**から、消費生活センター、新事業創出促進補助金、JR古賀駅西口エリア活性化事業、まつり古賀、古賀市キャッシュレス商品券（こがpay）について報告がありました。

JR古賀駅西口エリア活性化事業については、古賀竟成館高等学校とのハロウィンイベント、福岡工業大学とのJR古賀駅西口エリア人流調査、看護大学とのイベントなど様々な連携事業の実施を予定しているとのこと。

**委員**から、JR古賀駅西口エリア活性化事業における竟成館高等学校との連携事業は今後も継続していくのか、との問いに、継続して実施する予定。高校生は自ら考え企画し実行していくことで学べるし、商店街の方も元気をもらえるという大変有意義な事業であり、継続するということが活性化の第一歩だと考えているとのこと。

また、福岡工業大学と連携した人流調査で分析される今後5年間分のビッグデータをどのように活用していくのか、との問いに、時間、移動方向、属性等のデータから、事業者がニーズを把握し、今後の事業展開に役立てられるようにできればと考えている。また、データだけではなく、若い大学生の意見を取り入れながら、地域の方も一緒に交流していくことにも活性化の要素があると考えているとのこと。

**事業者支援係**から、無料職業紹介所、ふるさと応援寄附、電気・ガス料金高騰対策事業者支援金、パソコン技能習得支援事業補助金、古賀モノづくり博「工場見学・体験教室」について報告がありました。

**委員**から、ふるさと応援寄附は非常に伸びているが、今後の運営方針は、との問いに、昨年度の取組をまずは継続しながら、それをもとにして、寄附者、消費者のニーズに合わせた新商品、返礼品の開発を事業者とともに進めていくとのこと。

また、電気・ガス料金高騰対策事業者支援金について、受付期間がまだ暑い時期であり、対象として省エネ機器の給湯器・ボイラー等、調理機器、保温機・保温庫と3種あるが、冷暖房機器等は対象となるのか、との問いに、昨年は223の事業者に交付しており、少なからず各事業者の経常経費、電気代の節約、並びに機器の導入の負担減という効果が出ていると考えている。そこで今回は、新しくガス機器も対象とし、前回の分類には含まれなかったが、古賀市で使っている事業者が多いと思われるもの、もしくは対象として欲しいという声が大きかったものについてリストアップしている。冷暖房については、エアコンを前回の対象機器としているため、今回は除外したとのこと。

**その他**として、7月の豪雨等による商工政策課所管の施設については被害なしとのこと。

## 建設課

**土木係**から、主要な事業の進捗について、及び7月の豪雨等による護岸崩落、道路肩崩落、土砂流出等7箇所の災害について報告がありました。

委員から、西鉄宮地岳線跡地の道路について、古賀南区から北区に接続する場合、点字ブロック等の設置に関してどのような考えか、との問いに、点字ブロックについては、必要性等の聞き取りを行い、設置する場合には必要とされている方や団体と協議を行いながら形状等を決定していくとのこと。

管理係から、県事業について、及び古賀市道路台帳電子化業務委託について報告がありました。  
地籍調査係から、地籍調査事業の進捗について報告がありました。

委員から、古賀市全体の調査の進捗率、及び調査終了予定、国、県の補助金の状況、危険性を伴う調査時の対応は、との問いに、令和4年が終わった時点での調査地域に対して41%程度の進捗。調査終了予定については、ここ数年の年間当たりの進捗で計算すると50年以上はかかる。補助金は、補助対象事業費に対し、国から1/2、県から1/4ということで75%が補助率となる。また、調査時の安全確保に対する対応としては、安全に通行できる場所を選んで調査を進め、万が一に備えて傷害保険をに加入しているとのこと。

その他として、ビッグモーター古賀店に隣接する植栽に関して、現状の報告がありました。

委員から、今後の市としての対応は、との問いに、市が管理している植栽帯の土壌調査や店舗への聞き取りを実施し、その結果も踏まえながら今後の対応を考えていきたいとのこと。

## 上下水道課

総務・上水道管理係から、令和5年度古賀市上下水道事業経営等審議会、9月30日開催予定の「上下水道ラボ」について報告がありました。

委員から、上下水道ラボに、毎回子どもたちが楽しそうに参加している。子どもたちにとっても、古賀の水道の安全性について良いPRになればと思うが、学校との連携など周知方法は、との問いに、昨年度は、事前に校長会で案内。安心安全メール登録者には2週間前ぐらいに一斉送信をし、登録されていない方へはチラシの配布を行った。今年度はさらに、市内の保育所にポスター掲示の依頼を考えているとのこと。

下水道管理係から、下水道事業会計決算概要について報告がありました。

下水道係から、令和5年度の工事個所について、及び7月の豪雨に係る被害について報告がありました。被害の報告件数は、店舗及び家屋の浸水が各1件ずつであるとのこと。

## 市民部

### 環境課

環境整備係から、第3次古賀市環境基本計画・第2次古賀市地球温暖化対策事業実行計画の策定状況、市のエネルギー使用量等速報値、地域猫活動に関する取組について報告がありました。

資源循環推進係から、第3次古賀市ごみ処理基本計画の策定状況、「ごみ処理量」「資源化率」について報告がありました。

委員から、資源化率が増えた要因は、との問いに、ごみ処理基本計画の見直しを行うにあたり、他自治体との比較や分析をしたところ、本来含めるべき山元還元によるリサイクル量が、計上時に含まれていなかったため、それを加えたことと、剪定枝や金属、プラスチック製容器包装の回収量が増えたことの2点が考えられるとのこと。

海津木苑から、処理状況、海津木苑施設等啓発の報告、及び汚泥再生処理センター整備事業については令和5年6月末現在で予定・実績ともに87.1%の進捗率との報告がありました。

## 市民国保課

市民係から、令和5年6月末迄の総人口、令和5年6月末の外国人国籍別人口、個人番号カー

ド交付枚数・コンビニ交付サービス利用実績について報告がありました。

**委員**から、マイナンバーカードの交付にあたり、誤交付などはないかとの問いに、誤交付については今現在古賀市においては発生していないとのこと。

現在 75%の交付率であるが、残りの 25%についてはどういふ方か把握しているか、との問いに、何らかの形で申請がしにくい方や、そもそもマイナンバーカードを持ちたくない、不信感があるなどの理解がなかなか進みにくい状況にある方であろうと考えられる。申請したいが出来ないという方にどのようにして申請のお手伝いをしていくかという事がテーマであるとのこと。

**国保係**から、国民健康保険世帯数等、国民健康保険税賦課結果等について報告がありました。

**委員**から、国民健康保険税の収納実績が良くないがその背景をどのように分析するか、との問いに、令和 4 年度についても、まだコロナの影響で、営業状況が十分に回復していないという方もおられ、国保税を納めることが困難であるという方もしばしば見受けられる状況があった。このような方には分納などを含め、きめ細やかな相談に応じながら対応しているとのこと。

**年金・医療係**から、各種制度対象者数、後期高齢者医療保険料賦課結果について報告がありました。

## 人権センター

**人権教育・啓発係**から、人権教育・啓発事業、人権相談事業、及び人権関係団体活動推進事業について報告がありました。

**男女共同参画・多様性推進係**から、令和 5 年度の主な事業、男女共同参画推進事業、及び性の多様性尊重事業について報告がありました。

その他として、人権擁護委員の委嘱について報告がありました。

## 収納管理課

**収納管理係**から、令和 4 年度及び令和 5 年度の収納状況、令和 5 年度滞納処分状況について報告がありました。

その他として、後期高齢者医療保険料の納付方法について、本年 7 月からコンビニ、スマホ決済、クレジット決済で納付できるようになったとの報告がありました。

## 市税課

**市税課**から、現年分の市税調定状況、市税調定額の推移について報告がありました。

**委員**から、過去の推移を見ると、個人の市民税は右肩上がりになっているが、法人の市民税は右肩下がりになっている要因は何か、との問いに、個人においては、コロナ禍からの景気の緩やかな回復の影響が大きいのではないか。法人については、同様に回復しているところだが、原材料やエネルギーに係る費用の高騰などで収益が悪化している企業もあることなどが要因として考えられるとのこと。

国有資産等所在市町村交付金がどんどん下がってきているが、要因について分析しているか、との問いに、国有資産等所在市町村交付金については、減価償却により償却資産の資産額が年々減少しているため、調定額が下がってきているとのこと。

また、軽自動車税について、販売目的である軽自動車への課税を免除している自治体があるが、近隣自治体の状況も含め把握をしているか、との問いに、宗像市でも商品車の課税免除について一般質問なされたということは承知している。近隣市町村と情報交換は行っているが、新規に商品車の課税免除を行っているという市町村はないと聞いているとのこと。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。